

【報道関係各位】

Humanoids Summit Inc.

2026年4月1日

アジア初開催、世界最大のヒューマノイドロボットとフィジカルAI特化の国際会議

「Humanoids Summit Tokyo 2026」

5月28日(木)-29日(金)、東京・高輪にて開催決定

ロボット工学の第一人者・石黒浩氏の基調講演やGoogle DeepMind、GMO、トヨタの参加も予定

Humanoids Summit Inc.（本社：アメリカ・カリフォルニア州）は、ヒト型ロボット（ヒューマノイド）とフィジカルAIに特化した国際カンファレンス、「Humanoids Summit Tokyo 2026」を2026年5月28日（木）～29日（金）の2日間、高輪ゲートウェイコンベンションセンターにて開催いたします。シリコンバレー、ロンドンに続く第4回目となる今回のサミットは、アジア圏での初開催となります。

「Humanoids Summit Tokyo 2026」参加登録はこちら：<https://humanoidssummit.com/>



本サミットでは、米国・欧州・アジアから企業、開発者、投資家が集まり、ヒューマノイドのライブデモンストレーションを実施します。加えて、特別セッションでは、商業化・量産化・資本配分といった重要テーマについて議論が行われます。すでに国内外から40を超える登壇者、出展企業、スポンサーの参画が決定しています。

オープニング基調講演には、ロボット研究の第一人者である石黒浩教授（大阪大学）が登壇します。自身の分身であるヒューマノイド「Geminoid（ジェミノイド）」を用いたライブデモ

ンストレーションを予定しています。さらに、Google DeepMindをはじめ、世界をリードするAI・ロボティクス企業のトップが登壇予定です。

■「Humanoids Summit」アジア初の開催地、日本・東京

日本はこれまで長年にわたり、ロボティクス分野における世界的リーダーとしての地位を築いてきました。近年では、労働力不足や人口動態の変化といった構造的課題に対応するため、オートメーションへの投資が加速しています。

こうした背景のもと、ヒューマノイドロボットの社会実装が現実味を帯びる今、研究開発力と産業基盤の双方を備える日本、そしてその中心である東京が、グローバルな議論の舞台として選ばれました。

■ヒューマノイドロボットの最前線を体感するライブデモンストレーション

本サミットでは、実際に稼働するヒューマノイドロボットを用いたライブデモンストレーションを実施します。セッションを通じて、これらの技術が現実の環境下でどのように進化を遂げているのか、その最前線をご覧ください。

各セッションでは、業界の次なるフェーズを決定づける以下の主要テーマを取り上げます。

- 商業化および導入に向けた戦略
- 製造規模の拡大とサプライチェーン
- 資本配分およびベンチャー投資
- 世界モデルと空間AIの進展

また、ヒューマノイドの安全性も本プログラムにおける重要テーマの一つとして取り上げられます。法律事務所Cooley LLPが、新たに策定されつつある規制の枠組みや導入時の留意点について提言を行うほか、McKinsey & Company（マッキンゼー・アンド・カンパニー）が、進化し続けるヒューマノイド分野の全体像とグローバルな市場動向について、アナリストの視点から解説します。

■参加予定企業一覧（アルファベット順）

Apptронik、Archetype AI、AVITA、Booster Robotics、Boston Dynamics、Contact CI、Cooley LLP、Dyna Robotics、FEV Consulting、Field AI、Fraunhofer、General Motors、Harmonic Drive、Honda、Infineon、Lightwheel、LimX Dynamics、McKinsey & Company、Mentee Robotics、MERPHI、NEC、Panasonic、Psyonic、Qualcomm、Renesas、RLWORLD、Sanctuary AI、TRON K.K.、Toyota、Ugo、Unitree

その他、米国・欧州・アジアから多数の企業が参加予定

■Humanoids Summit創設者・ALM VenturesのゼネラルパートナーModar Alaoui氏のコメント

「未来を形づくるのは、映像の中のロボットではなく、実際に現場で働くロボットです。東京は、この議論を行うのに最適な場所です。日本は世界トップクラスのロボティクス人材を有するとともに、ヒューマノイド技術に対する長い文化的背景を持っています。こうした特性から、日本は今後の産業の発展において重要な拠点となると考えています。」

■業界関係者のコメント

- **石黒浩氏（大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻・特別教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長&ATRフェロー）**

「ヒューマノイドロボットは、技術だけでなく、人間そのものを理解する手がかりにもなります。ロボットが人間の生活環境により深く関わるようになる中で、どのようにそれらを開発するかだけでなく、どのように共存していくのかを議論することが重要です。Humanoids Summit Tokyoのような場は、研究者、開発者、業界リーダーが集い、これらの技術がどのように進化し、社会に統合されていくのかを議論する貴重な機会となります。」

- **奥家 敏和氏（経済産業省 大臣官房審議官（商務情報政策局担当））**

「日本の高齢化や労働力不足といった課題により、ロボティクスおよびフィジカルAIの重要性はこれまで以上に高まっています。ヒューマノイドが研究段階から実社会へと移行し始めている今、Humanoids Summit Tokyoは、まさに最適なタイミングで世界のイノベーターを結集する場となります。」

- **野見知弘氏（トヨタ自動車株式会社 未来創生センター ヒューマノイドロボット研究領域リサーチリーダー）**

「トヨタ自動車は、Humanoids Summit Tokyoを、フィジカルAIおよびロボティクス分野における世界のリーダーが集結する重要な国際プラットフォームだと考えています。本会議が日本で開催されることに敬意を表するとともに、産業界と研究界を横断した連携のさらなる深化に貢献してまいります。あわせて、プログラムを通じて当社の知見や取り組みを共有できることを大変楽しみにしております。」

- **内田朋宏氏（GMOインターネットグループ グループ専務執行役員）**

「GMOインターネットグループは、Humanoids Summit Tokyoのシグネチャースポンサーを務めることを大変光栄に思います。ロボティクス、AI、デジタルインフラの融合が進む中、世界のイノベーターが集うこうした場を支援することは、次世代の知能機械の発展に不可欠であると考えています。」

- **Ani Kelkar氏 (McKinsey & Company パートナー)**

「AI、アクチュエーション、認識技術の進展により、ヒューマノイドロボティクスは実用化に一層近づいています。今後の焦点は、これらの技術が実証段階から、スケーラブルな産業応用へとどれだけ迅速に移行できるかにあります。Humanoids Summit Tokyoは、まさにその議論が行われる場です。」

■参加登録について

本イベントは、テクノロジー、産業、政策分野における意思決定者を中心に、厳選された参加者構成で開催されます。すでに多くの関心が寄せられており、展示スペースはほぼ満杯となっています。現在、スポンサー枠の最終調整が進められています。

参加登録は引き続き受付中で、早期割引価格のチケットは数量限定で提供されています。

■Humanoids Summitについて

Humanoids Summitは、ヒューマノイド、フィジカルAI、自律システムに特化した国際カンファレンスです。シリコンバレーおよびロンドンでの開催実績を有し、テクノロジー、産業、政策分野のリーダーが一堂に会し、人間の生活環境で稼働する次世代の知能機械の未来を形づくる議論を行っています。

■お問い合わせ

- 参加登録・お問い合わせ：<https://humanoidssummit.com/register>
- スポンサー/出展に関するお問い合わせ：<https://humanoidssummit.com/exhibit-or-sponsor>